

Ⅲ－(3) 学卒者訓練 応用課程（専門課程修了者等を対象にした2年間の訓練）

○ 訓練コース例

生産機械システム技術科

（コース概要／習得内容）

機械技術を中心に、エレクトロニクス、情報技術等を融合し、①CADによる図面作成、精密加工、組立、評価、②PLCを活用した制御技術、③CAEを活用した各種シミュレーション技術等を習得。課題実習とグループ学習方式により、問題解決力、応用力、協調性を持った人材を育成。

（就職先）

機械メーカー、精密加工メーカー、部品メーカー、メカトロニクス企業等に将来の生産現場のリーダー・管理者として就職。

訓練風景

①企画・開発



③ワーキンググループによるミーティング



②設計



④製作



開発課題

現場における製品、工程、管理などに関する課題を企業から題材として取り入れ、企画から製作に至る一連の工程・作業を体得する「課題実習方式」を実施。また、現場での工程・作業は複数の職種・分野にまたがることから、複数の訓練科による「ワーキンググループ方式」を実施。実際の企業における製品開発をイメージしたカリキュラムにより、新しいものを創り出す能力を培う。

（例）長ナス自動皮むき装置（来年度より漬物工場生産ラインにて活用予定）

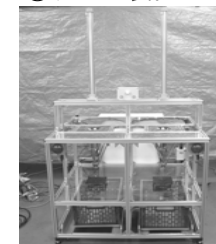
①ヘタ・果尻切断装置



通過後のナス



②皮むき装置



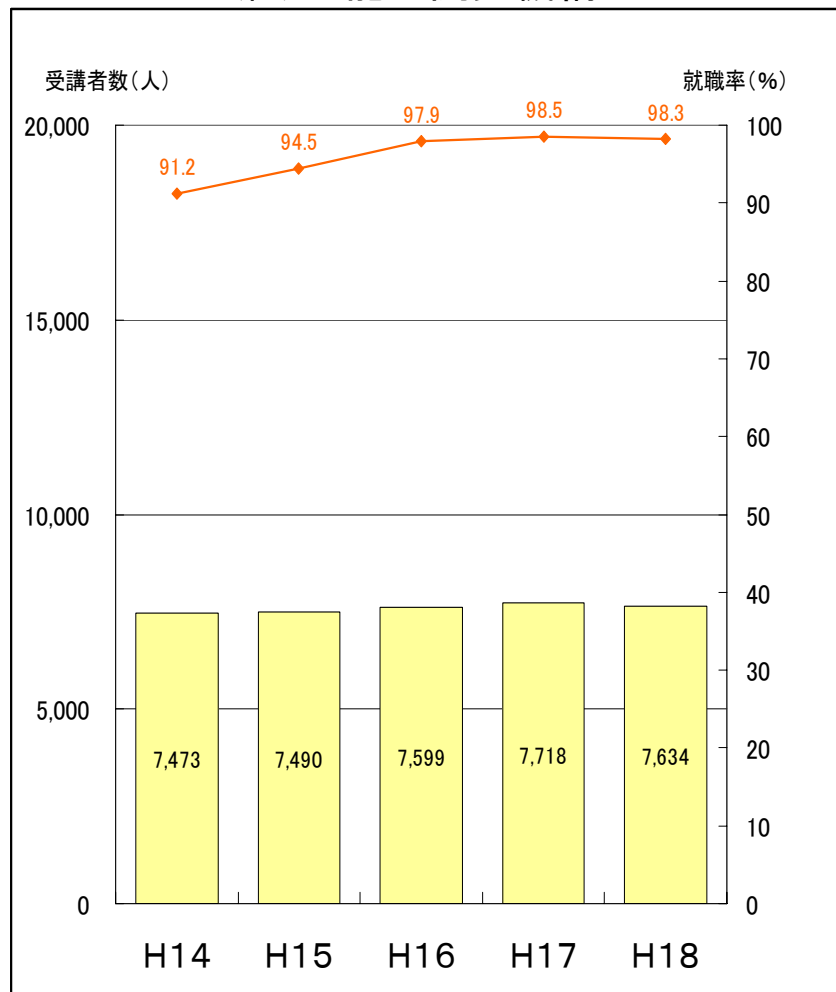
通過後のナス



☆上記（例）のように、開発した製品のうち、実際に企業の生産ラインに活用されたり、製品化された事例が多数。

公共職業訓練実施状況（学卒者訓練）

雇用・能力開発機構



都道府県

